

理科

2025 年度入試のねらいと出題方針

出題方針

1. 本校に入学後、理科を学んでいくために必要な知識と論理的思考力を問います。
2. 理科への興味関心、科学的思考力を育てるような問題を作成します。

具体的な作問の方針

1. 知識に関する問題は、中学受験用の問題集における頻出事項を中心に出题します。
2. 論理的思考力は、日常生活や自然の中の体験や実験などを題材として、科学的知識を当てはめて考える形で問います。
3. 科学的思考力は、与えられた情報を分析し、必要に応じたデータ処理などをした上で、思考の過程や導かれる結論を表現する形で問います。
4. 大問は 4 題です。易しい問題から難しい問題という順に配列して受験生の学力を測定します。
5. 物理、化学、生物、地学分野を偏りなく出題することで理科の学力を総合的に測定します。

解答を進める上でのアドバイス

1. ①から順に解いていくことがよいでしょう。
2. ③まではあまり時間をかけず、行き詰ったときは、こだわらずに次の問題に移ったほうがよいでしょう。
3. ④は日常生活で経験していることを、小問を解きながら科学的に解明していく問題です。しっかりと問題文を読んで、内容を理解しながら筋道を立てて考えていきましょう。

採点基準と配点について

1. 漢字に関する採点について

漢字という指定がない限り、ひらがなで答えても、単独の問題としては減点しません。ただし、答案全体としてひらがなが目立って多い場合は減点します。また、明らかな誤字は減点の対象となります。

2. 単位に関する採点について

「単位を付けて答えなさい」という設問に対して、単位を付け忘れた解答は減点の対象となります。

3. 配点について

大問①、②に 20～25 点、③、④に 35～40 点の配点とします。

2024 年度入試採点結果の分析

出題傾向、難易度共に例年通りです。入試説明会でお話している注意点をしっかり理解している受験生が多く、計算問題に分数で答える、記述問題に単語で答える、**4**を途中までしか解答していない、などの答案は少数でした。受験勉強で身に付けた知識を直接問う問題は得点率も高かったのですが、知識を応用するような問題はやや得点率が低くなっていました。また、解答を図示する問題は、知識としてはわかっている、ポイントを押さえて表現できていないものが多数ありました。

解答が1つではない自由記述は、よく考えられている答案が多数見受けられた反面、問題の主旨から外れた記述をしているものも多くありました。何を問われているのか、問題を落ち着いて読み解くことを心掛けるといいでしょう。

また、日常生活で「当たり前」に使っているであろう単語が答えられない受験生が一定数いました。理科は日常生活の中にありますので、日ごろから身の回りの出来事に興味関心を持ってほしいです。

下の表の数字は得点率です。**1**、**2**は基本問題となっているので、7～8割程度得点できると余裕をもって合格ラインを超えることができたようです。

A 入試 60%	
1 問1 A 78% B 87% C 83% 問2 38% 問3 ① 88% ② 85% ③ 81% ④ 76% 問4 60% 問5 54%	1 全体：68%
2 問1 81% 問2 ② 79% ③ 86% ④ 80% ⑤ 91% ⑥ 60% 問3 89% 問4 71% 問5 83% 問6 80% 問7 48% 問8 15%	2 全体：68%
3 問1 64% 問2(1) 87% (2) 45% 問3 81% 問4 23% 問5 (1) 35% (2) 35% (3) 21% 問6 A 47% B 4% 問7 41%	3 全体：44%
4 問1 86% 問2 あ 81% い 61% う 70% え 75% 問3 23% 問4 23% 問5 50% 問6 ア 61% イ 66% ウ 68% 問7 23% 問8 8%	4 全体：48%
1 2 の用語を問う問題や受験理科の基礎知識を問う問題の得点率は高かったです。 2 の計算問題も受験理科ではよく見かける問題なので、解き方はわかっていたようですが、桁を間違えるような計算ミスも多く、得点率が低くなったようです。 3 4 の文章読解力を必要とする問題では、計算も頑張っていました、あきらめたかのような空欄の多い問いもあり、残念でした。自由記述問題では、書いてはいるものの「理由がない」「具体的にない」など、わかりにくい表現も多くありました。	
C 入試 55%	
1 問1 A 82% B 77% C 83% D 96% E 99% F 82% 問2 17% 問3 記号 91% 育ち方 82% 問4 24% 問5 ダンゴムシ 90% アリ 59%	1 全体：75%
2 問1 ① 89% ② 46% ③ 49% 問2 89% 問3 45% 問4 68% 問5 37%	2 全体：61%
3 問1 (1) 34% (2) 69% (3) 50% (4) 36% (5) 23% 問2 白いもの 67% ちがい 39% 問3 58% 問4 14% 問5 80% 問6 あ 46% い 75% 問7 51%	3 全体：48%
4 問1 (1)(2) 58% (3) 78% (4) 82% (5) 88% 問2 94% 問3 51% 問4 (1) 72% (2) 17% 問5 (1) 29% (2) 4% (3) 2% 土砂災害発生 62% 問6 24%	4 全体：56%
1 高い得点率であり、昆虫に苦手意識を持っていないようで良い傾向だと思いました。しかし、翅やあしに関する問については、得点率が低く、実際の昆虫には触れてこなかったように感じました。 2 音の問題もおおむねよくできていました。 3 日常生活でよく触れる事柄ですが、1つ1つの現象の理由まできちんと表現できる人は少なかったようです。 4 見慣れない計算問題で、文章読解力が必要でした。記述問題では、問題の流れから「水」「固い地盤」のことを考えられると良かったと思います。	